

## 蔵王山の火山活動解説資料

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

< 噴火予報 (活火山であることに留意) が継続 >

蔵王山では、2015 年 5 月下旬以降、御釜周辺が震源と推定される火山性地震が少ない状態で経過していましたが、6 月 17 日から増加しました。その後、増減を繰り返しながら 27 日に 21 回、29 日に 24 回と、やや多い状態となっています。火山性微動は観測されていません。

遠望カメラや火口カメラによる観測では、噴気は認められていません。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降わずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあります。

火山性地震が増加していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

2015 年 6 月 16 日に噴火予報 (活火山であることに留意) を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

### 【防災上の警戒事項等】

蔵王山は活火山であることから、想定火口域 (馬の背カルデラ) 内で噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、周辺では注意が必要です。

登山や観光などで山に入る場合には、活火山であることに留意して、突然の火山活動の活発化に注意して行動してください。

### 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況 (図 1)

蔵王山では、2015 年 5 月下旬以降、御釜周辺が震源と推定される火山性地震が少ない状態で経過していましたが、6 月 17 日から増加しました。その後、増減を繰り返しながら 27 日に 21 回、29 日に 24 回と、やや多い状態となっています。

火山性微動は 5 月 17 日を最後に観測されていません。

#### ・噴気など表面現象の状況

遠刈田温泉 (山頂の東約 13km) 及び上山金谷 (山頂の西約 13km) に設置している遠望カメラ及び刈田岳 (御釜の南約 1 km) に設置している火口カメラによる観測では、噴気は認められていません。

#### ・地殻変動の状況 (図 2 ~ 4)

坊平観測点 (山頂の南西約 5 km) に設置している傾斜計<sup>1)</sup>では、南東上がりの変化が継続しています。

GNSS<sup>2)</sup>連続観測では、一部の基線で 2014 年 10 月以降わずかな膨張を示す地殻変動が観測されています。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 26 情使、第 578 号)。

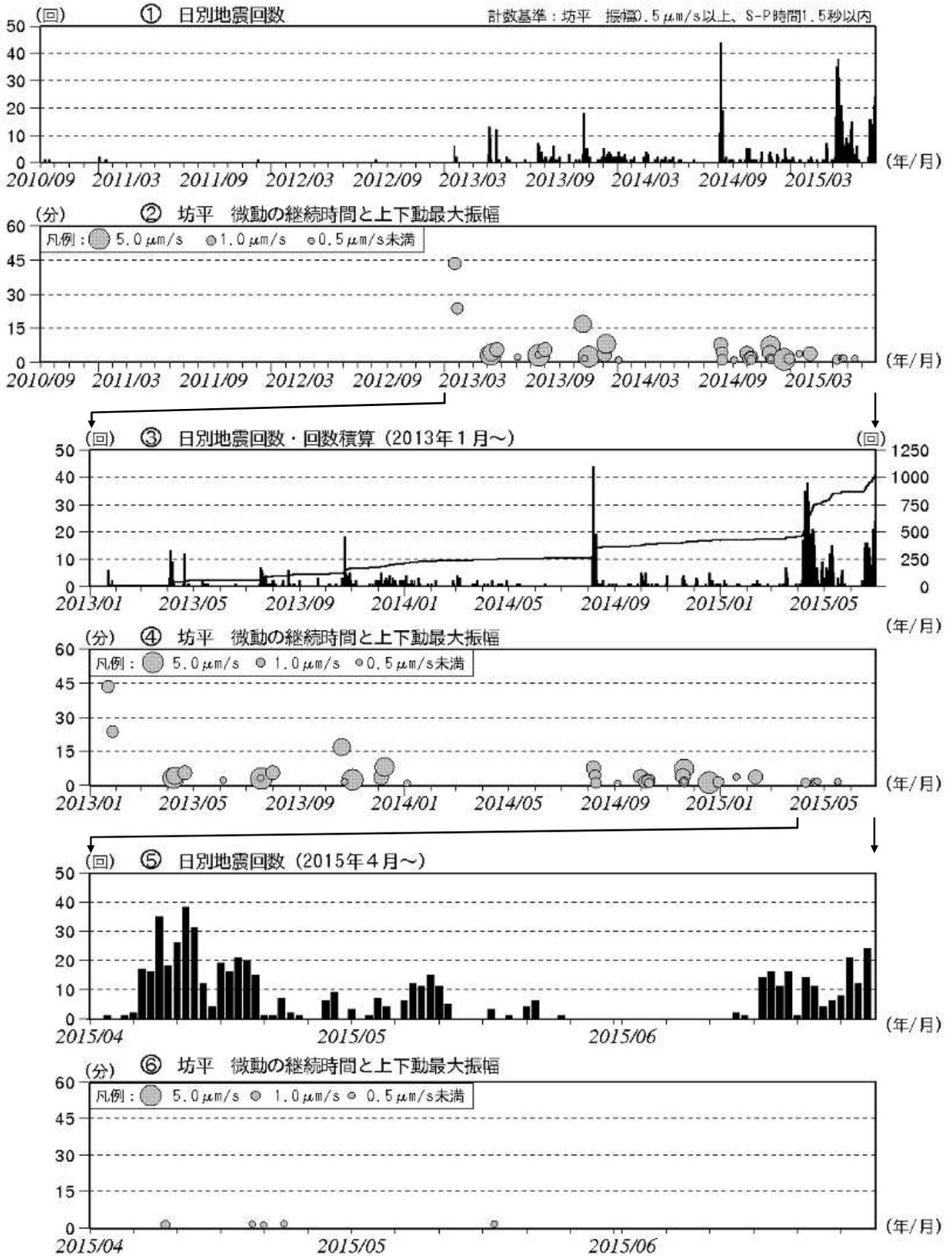


図1 蔵王山 火山性地震及び火山性微動の発生状況 (2010年9月～2015年6月29日)

- ・2010年9月1日から観測を開始しました。
- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

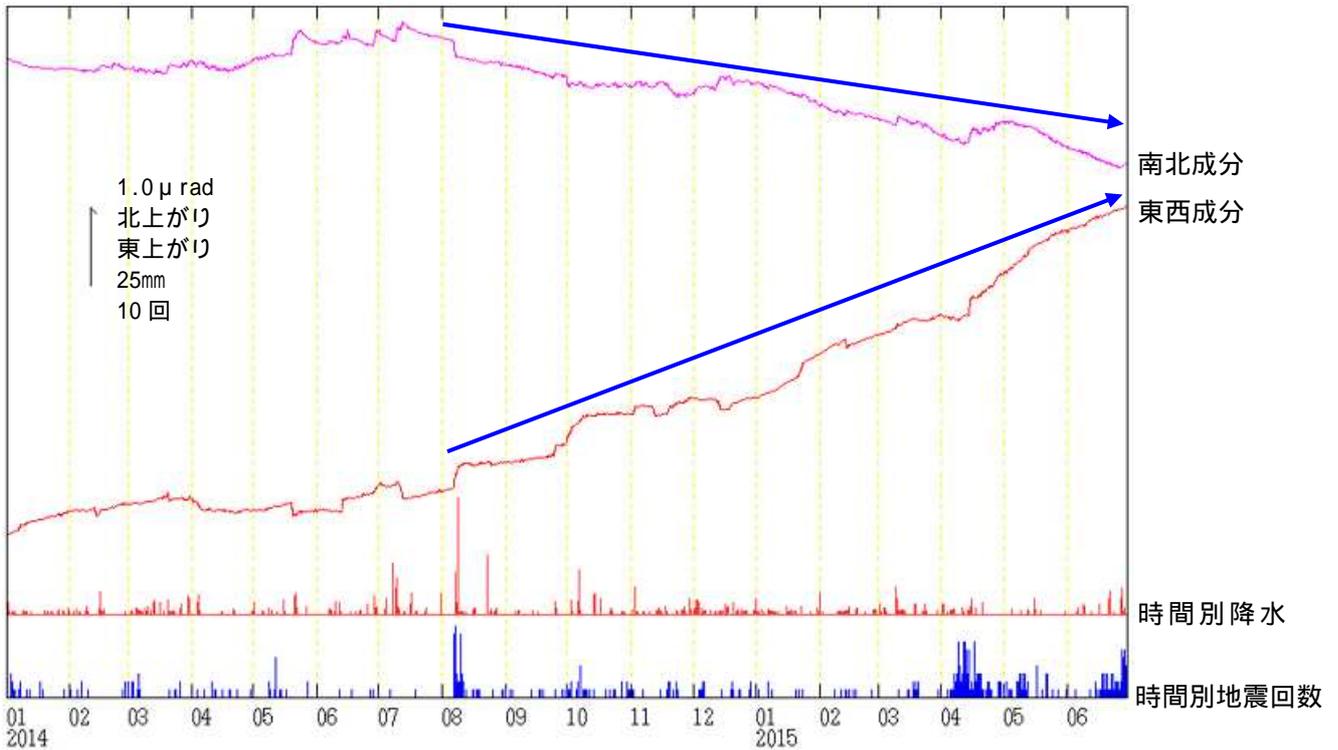


図2 蔵王山 坊平観測点での傾斜変動  
(2014年1月1日~2015年6月29日、時間値、潮汐補正あり)

- ・ は傾斜計の変化方向を示します。
- ・  $1 \mu\text{rad}$  (マイクロラジアン) は、1 km 先が 1 mm 上下するような変化量です。

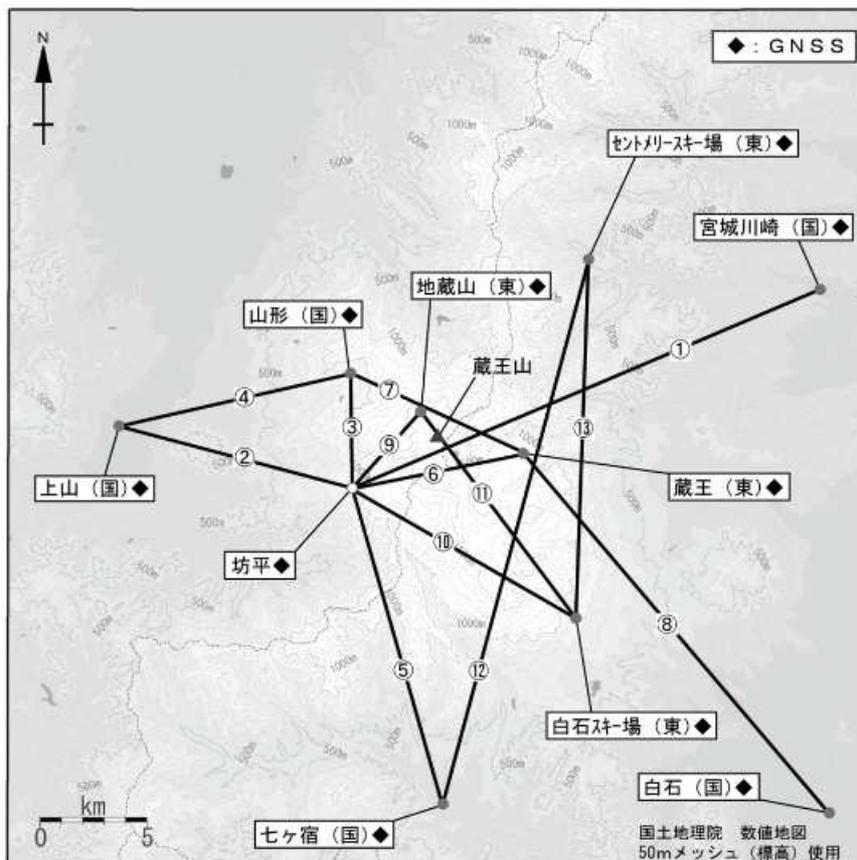


図3 蔵王山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 ( ) は気象庁、小さな黒丸 ( ) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学

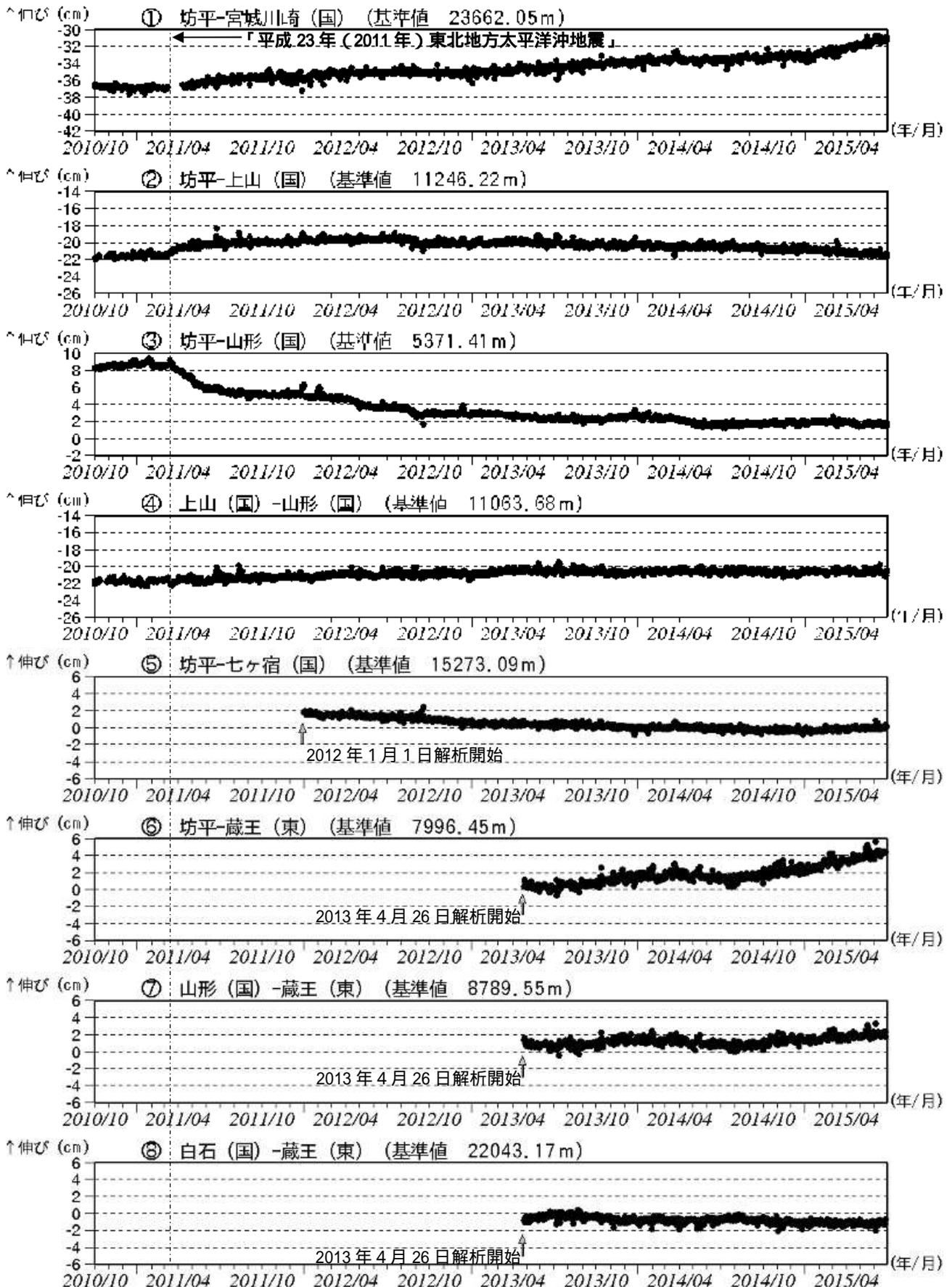


図4 - 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010年10月~2015年6月29日)

- ・2011年3月11日以降の変動は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
  - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・～は図3のGNSS基線～に対応しています。・グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- (国)：国土地理院 (東)：東北大学

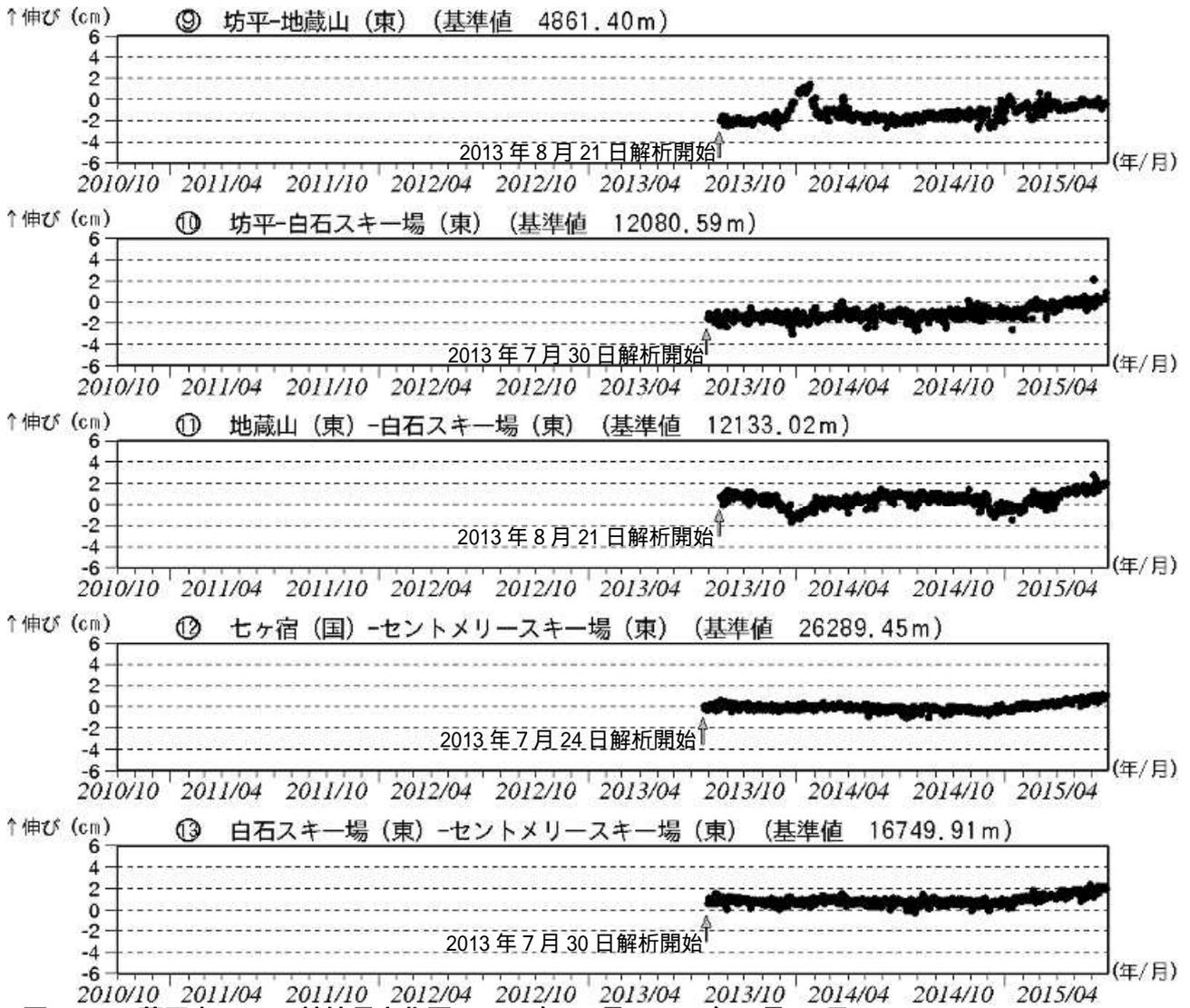


図 4 - 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010 年 10 月 ~ 2015 年 6 月 29 日)

- ・ ~ は図 3 の GNSS 基線 ~ に対応しています。
  - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
  - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- 地蔵山 (東) では、着雪による変化がみられます。  
(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学

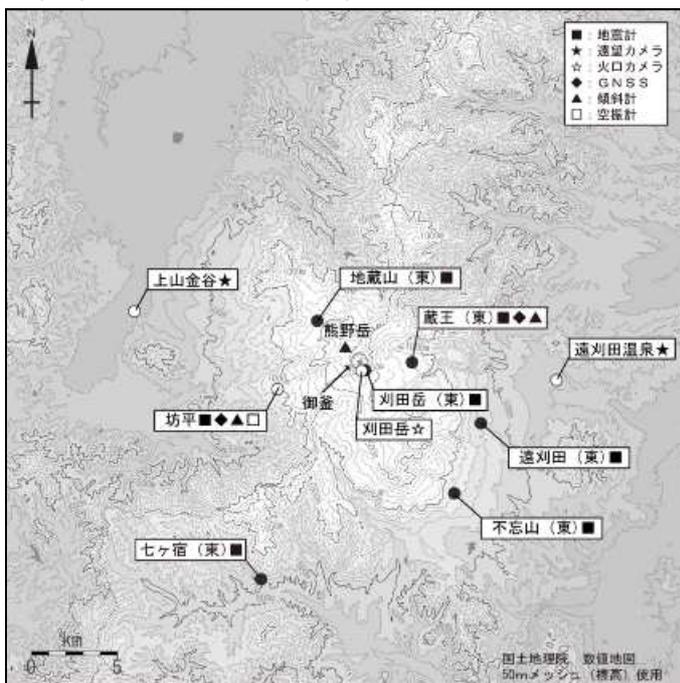


図 5 蔵王山 観測点配置図

は気象庁、は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(東) : 東北大学